

## 1 堆砂対策の取組み背景

- 弓ヶ浜海岸末端部に位置し、例年漂砂により航路が埋没。
- 航路維持のため、国交省の養浜と連携したサンドリサイクル事業により、毎年浚渫を実施。
- 平成26年2月の関東沖の爆弾低気圧で東よりの強風が続き、航路が埋没、船舶の入出港が困難となった。

## 2 境港公共マリーナの状況

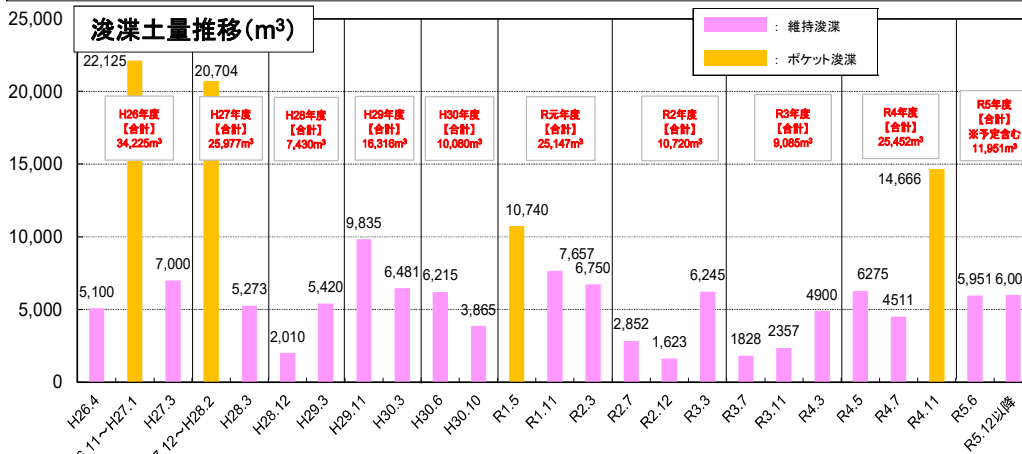
- 平成26年3月 日本オリンピック委員会のセーリング強化センターに認定(リオデジャネイロ五輪まで)。
- 平成26年度、既設管理棟の施設改善や係留施設整備(緩衝材)等を行った。
- 平成28年3月 セーリング競技の世界大会「2019(R1)レーザー級世界選手権」の開催地内定。
- 平成28年11月 セーリング競技の世界大会「2019(R1)レーザー級世界選手権」の開催地正式決定。
- 平成30年度~令和元年度、「2019(R1)レーザー級世界選手権」に合わせ、マリーナ周辺の施設改修。
- 令和3年4月 「さかいみなど海の駅」として海の駅に認定。
- 令和4年4月 境港公共マリーナ整備事業着手
- 令和4年11月 日本オリンピック委員会の強化センターに再認定。
- 令和5年9月 港湾計画に基づいた境港公共マリーナ整備事業実施に伴い、「第1回夢みなどエリア再整備検討会」を開催。
- 令和5年5月、7月 セーリング競技の日本代表強化合宿を実施。11月23~26日 全日本大会「2023(R5)Laser All Japan Championships ILCA6/7」開催。



令和元年5月22日撮影(浚渫作業中)

## 3 堆積土砂量の推移

- 弓ヶ浜海岸(米子市夜見、富益地内等)は、美保湾を北に向かう沿岸漂砂により侵食され、流末(北側末端部)に位置する境港公共マリーナ付近に堆積し、航路・泊地が埋没している。
- 境港公共マリーナの航路・泊地に堆積した土砂について、境港管理組合が浚渫して陸上げし、国土交通省日野川河川事務所が自らの採取土砂と併せてダンプトラックで運搬、侵食が進む米子市富益地区等の弓ヶ浜海岸の浜崖部に養浜するサンドリサイクル事業を実施している。



## 3 近年の取組状況

## ○令和元年度

- ・6月 南側砂浜海岸の状況をリアルタイムで把握し、当該海岸の適切な維持管理や安全にマリーナをご利用いただくためのツールとして海岸監視カメラを設置。
- ・3月 境港長期構想を策定。20年~30年先の構想として境港公共マリーナにおいて、係留、保管施設の拡張、航路水深の確保に取り組むこととした。

## ○令和3年度

- ・7月 境港港湾計画を16年ぶりに改訂。現マリーナを東側へ拡張し、機能移転・拡充を含めた整備を計画。

## ○令和4年度

- ・4月 港湾計画に基づき、境港公共マリーナ整備事業スタート。深淺測量、地質調査、設計着手。
- ・11月 航路背後地の土砂堆積が著しいため、ポケット部の浚渫実施。

## ○令和5年度

- ・9月 境港公共マリーナの深淺測量、地質調査が完了し、設計を進めている。



監視カメラ映像(HP公表)

## 4 境港公共マリーナ整備事業

## ○事業目的

- ・「海洋性レクリエーション需要への対応」、「港内の放置艇対策」及び「航路埋塞対策」

## ○事業名

- ・外港竹内南地区公共マリーナ整備事業

## ○事業期間

- ・令和4年度~令和10年度 ※令和12年度(2030)島根国スポ、令和15年度(2033)鳥取国スポ

## ○全体事業費

- ・C=24億円

## ○事業内容

- ・防波堤延長:657m、小型栈橋:2基、埠頭用地:1.8ha

## ○事業の進捗状況

## 【工事】

- ・7月上旬~9月上旬にかけボーリング調査を終え、沖側防波堤の設計を実施中(年度内に細部設計を完了予定)。令和6年度初頭より防波堤工事に着手予定。

## 【関係機関との意見交換】

- ・拡張後における公共マリーナ利用のあり方に関し、利用団体や障がい者団体等との意見交換を継続的に実施中。引き続き、関係者の御意見など伺いながら検討を進める。

(意見例)ヤード等のゾーニング・利用形態、駐車場の増設、船の大型化への対応、バリアフリー化への対応(脱着式クレーン等)、夢みなど公園とのアクセス改善 等



境港公共マリーナ拡張計画(整備イメージ)

